生保内中学校報

駒が嶺

Ｎｏ.２６
令和８年
１０月１６日（金）

□校　　訓　　正しく　かしこく　たくましく
□学校教育目標　　一人一人が「正しく　かしこく　たくましく」生き抜く学校の創造
～がんばろう　生保内～

後期がスタートしました。

後期がスタートしました。スタートの１６日には始業式を行いました。初めに賞状収納伝達を行いました。詳しくは、右下をご覧ください。次に生徒発表が行われ、Ａ.Ｓさんが代表で発表しました。Ａ.Ｓさんは、前期終了間際の転入だったため、後期にがんばることを発表しました。後期は特にスキーに力を入れたいと抱負を語りました。ぜひ、県大会入賞、そして東北大会・全国大会出場を果たしてほしいです。


代表　Ａ.Ｓさん

次に私から式辞として、後期がんばってほしいことをお話しました。花壇のマリーゴールドを例にして、水を欲していても、周りの草がのびてきても耐えに耐えて、花を咲かせているマリーゴールドのようにたくましくなってほしいことを伝えました。そして、３年生には「受検勉強は団体戦である」からみんなでがんばってほしいこと、２年生には学校の中心となるため、「ONE　FOR　ALL, ALL　FOR　ONE」の気持ちをもってほしいこと、１年生にはあと半年で新入生が入ってくるため、先輩として新入生の手本になれるような生活をしてほしいことをお願いしました。

前期は、素晴らしい活躍をしたみなさん、校訓「正しく　かしこく　たくましく」を意識した生活をして、素晴らしい後期にしていきましょう。

素晴らしい駒草祭でした。

１０日は、駒草祭でした。８時４５分の開場と同時に多くのお客さんが来場しました。ざっと 100 名以上の来客で、ここ数年で一番の観客数でした。今年は、峠の茶屋の社長さんと生保内中応援団のみなさんをパネリストとした生徒会執行部とのパネルディスカッションを行いました。パネリストからのお話は裏面に載せますが、中学生だけではなく、保護者、地域住民も元気が出る素晴らしいお話でした。また、生保内節発表では、今年そろえた半纏を着て、全校生徒が唄い、踊りました。共繋共創のテーマとおり、学校・保護者・地域がつながった素晴らしい駒草祭でした。そして、全校生徒が感動を味わうことができました。本当にありがとうございました。


生演奏

栄光をお知らせします。

１６日に賞状収納伝達を行いました。みなさんの活躍を紹介します。

○郡新人総体　剣道女子団体　準優勝
　バスケットボール女子　準優勝
○ JFA 第 32 回全日本 U-15 フットサル選手権
　大会秋田県大会　優勝
　Ｋ.Ｃさん・Ｇ.Ｃさん・Ｈ.Ｓさん
　Ｏ.Ｔさん・Ｙ.Ｔさん
○高円宮杯第 78 回全日本中学校英語弁論大会
　秋田県大会 弁論の部 第２位 Ｒ.Ｍさん
○第４回大曲仙北フレッシュ剣道大会
　敢闘賞　Ａ.Ｓさん・Ｙ.Ｉさん
　Ｍ.Ｔさん・Ｒ.Ｔさん
○第 72 回青少年読書感想文全国コンクール
　大曲仙北審査　自由読書
　１年三席　Ｓ.Ｔさん・Ｍ.Ｆさん
○第 39 回生保内節全国大会ボランティアスタッフ
　Ｋ.Ｔさん・Ｍ.Ｏさん・Ｙ.Ｓさん
　Ｍ.Ｓさん・Ｍ.Ｔさん・Ｉ.Ｋさん
　Ｒ.Ｓさん・Ｙ.Ｈさん

駒草祭　パネルデスカッションの内容

1　仙北市のよさは
○自然（田沢湖・駒ヶ岳・温泉）
○みんなが協力しているところ
○冬を乗り越えるなど生きる力が強い。全員がパワフル。
○人の温かさ、人の強さ。
○ご飯がおいしい。地域の方が作った、自分で育てた、そのご飯をいただく、人のつながり。

2　人とのつながりは
○従業員のおかげ。一人では何もできない。
○移住した１年目の冬にホワイトアウトの時に、車で突っ込んでしまった。たくさんの人が来て、助けてくれた。助け合いが自然にできている。
○龍神祭りで煌我さんとリフティングした。とても楽しかった。
○あいさつが普通にできている。
○人とのつながり　→　温かいつながり　→　未来へのつながり

3　中学生に期待したいことは
○生まれたことが素晴らしいという思いを忘れないでほしい。ふるさとを大事にしてほしい。
○家族の大事さ＝ふるさと。個人的には、仙北市の素晴らしさを体験して、覚えたい。
○田沢湖をホームと考えた時に、どうしたら楽しく過ごせるか。こんなことをしたいなど、私たちに声かけしてほしい。
○毎日毎日、違うことが起きている。急がず、毎日大事に生活してほしい。